

鶴岡市第2次総合計画後期計画地域振興の章

7 地域の振興

各地域固有の特性や地域資源を最大限に生かし、地域住民が誇りと愛着を持ち、安心して暮らし続けることができる地域づくりを行います

- (1) 鶴岡地域 (P)
 - ア 未来を見すえた住民主体のまちづくりの推進
 - イ 地域の明日を担う人材の確保・育成
- (2) 藤島地域 (P)
 - ア 未来に繋げる田園文化と多様な水田活用農業の振興
 - イ 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進
 - ウ 暮らしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築
- (3) 羽黒地域 (P)
 - ア 人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進
 - イ 地域の特色を生かし価値を高める農業の推進
 - ウ 活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進
- (4) 櫛引地域 (P)
 - ア フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上
 - イ 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進
 - ウ コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進
- (5) 朝日地域 (P)
 - ア 中山間地域における定住環境の支援
 - イ 森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興
 - ウ 自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興
- (6) 温海地域 (P)
 - ア あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興
 - イ 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大
 - ウ 地域特性を生かした農林水産業の振興
 - エ 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備

(4) 櫛引地域

櫛引地域は、本市を代表する果樹の生産地であり、黒川能をはじめとする伝統芸能や、丸岡城跡及び加藤清正墓碑などの歴史遺産が数多く残る地域です。さらには、中央を南北に貫流する赤川や庄内が一望できる中山間地など豊富な地域資源を有しています。これらの特性を生かすことで、たくさんの人々が集い交流するにぎわいの創出と、地域住民が将来にわたって物心ともに豊かに暮らせる活力ある地域づくりをめざします。

櫛引地域における果樹生産の特徴である多品目生産と、観光果樹園や産直などの取組を生かし、「フルーツの里」としてのブランド化を図ります。また、農業体験など体験型観光の環境を整備し、都市部との交流人口の拡大を図るとともに、様々な地域資源を生かしながら、周辺地域との連携による広域観光圏の形成を推進します。

黒川能をはじめとする貴重な伝統芸能や歴史文化の保存と継承を支援し、情報発信や観光連携を進め、地域の活性化につなげます。

少子高齢化や人口減少などを見据え、住民の暮らしを守るための、地域コミュニティの維持活性化と、健康で安全安心な生活が送れる仕組みづくりを進めます。

ア フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上

○施策の方向

櫛引地域の果樹生産の強みである多品目生産の特性を生かしたブランド化により、持続可能で経営力のある産地形成を目指すとともに、農業体験など体験型観光を推進し都市部との交流人口の拡大を図ります。また、出羽三山や加茂水族館等の鶴岡の大きな観光資源を核としながらも、近隣地域との連携による広域観光圏の形成を推進します。

○主な施策

- ① 担い手の育成や農業経営体の組織化、農業者の意向の把握など、円滑な園地継承の仕組みを構築するとともに、各種助成事業を積極的に活用し、施設の整備やスマート農業技術の導入など、果樹生産基盤の整備を促進します。
- ② 庄内地方で随一の多品目生産の果樹産地として、地域の持つ特徴を積極的にPRするとともに、付加価値を高める6次産業化を推進し「フルーツの里」としてのブランド化を図ります。
- ③ 観光果樹園や農家民宿、櫛引たらのきだいスキー場、ふるさとむら宝谷など、地域の施設を最大限に活用し、体験型観光等による都市部との交流人口の拡大を図ります。
- ④ 出羽三山や加茂水族館等の観光資源を核としながらも、櫛引、朝日及び黄

(最終)

金地域一帯を鶴岡市南部エリアと位置づけ、観光関係者相互の連携強化を促進します。また、黒川能や丸岡城跡史跡公園、馬渡の桜並木など、それぞれが持つ地域資源の魅力度を高め、観光周遊ルートの形成や観光商品の開発、四季に応じた情報発信、デジタル技術の活用など、観光PRを強化し、インバウンドを含めた観光客の増加につなげます。

イ 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進

○施策の方向

黒川能などの貴重な歴史文化を保存伝承していくため、地域全体でその価値を共有し、時代の変化に合った伝承の方策を探りながら新たな地域活動へつなげていきます。また、歴史文化の資源や遺産を活用した集客や利用拡大を進めることで、文化的歴史的価値の理解促進と、観光連携や地域の活性化を図ります。

○主な施策

- ① 黒川能保存伝承研究会*などの開催により黒川能の魅力を伝え、映像や音源の保存記録を活用した伝承支援や後継者育成支援を継続するとともに、文化的価値の情報発信を推進します。

また、天狗舞獅子舞などの民俗芸能の実態調査と課題の掘り起しなどを進め、継承活動を支援します。

- ② 丸岡城跡史跡公園と黒川能の里王祇会館への集客や利用拡大を、指定管理者やガイドの会など関係団体と一緒に進めるとともに、デジタル技術等を活用した地域の歴史文化の理解促進と、観光連携や地域の活性化を図ります。

※黒川能保存伝承研究会

識見者による黒川能の歴史や行事食の可能性などを学習する機会とし、理解を深める取組を広げ、具体的な活性化の実践につなげることを目的とする、公益財団法人黒川能保存会主催事業。

ウ コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進

○施策の方向

地域コミュニティの役割が増す一方、その機能低下が懸念される中であって、担い手の育成と集落自治体制を補完する広域コミュニティ組織の設置検討や、防災連携などの仕組みづくりを支援します。また、地域づくりとコミュニティ活性化のため、生涯学習の推進や、リーダーを育成する取組、ケーブルテレビを活用した地域情報の発信を進めます。併せて、健康増進のための拠点づくりの支援や新たな地域公共交通の確立など、健康で安全、安心に暮らせる環境整備を図り、明るく元気な地域づくりを推進します。

○主な施策

- ① 地域コミュニティ活性化推進のための広域コミュニティの設置検討や、防

(最終)

災連携、生涯学習の推進を図り、また、ケーブルテレビを活用した情報発信と地域づくりの推進など、活力と持続性のあるコミュニティづくりを進めます。

- ② 将来の地域づくりのリーダーを育成する取組や交流の場を創出するとともに、地域住民による花いっぱい運動等の活動や若者世代によるこしゃってマルシェなどの取組を支援し、協働のまちづくりとにぎわい創出を促進します。
- ③ スクールバス住民混乗利用を継続するとともに、現在実証実験事業として実施しているデマンド交通の確立を図り、子どもや高齢者など交通弱者の生活支援を行います。
- ④ 交通安全対策や防犯活動を推進するとともに、幼少期の教育支援や、くしびき温泉ゆーTownを核とした健康増進、住民同士の語らいや交流活動の取組を促進することで、明るく健康で生きがいのある地域づくりを推進します。

施策の成果指標 (KPI)

成果指標(項目)	初期値	現状値	目標値
果樹販売額(JA櫛引支所、産直施設)	318,759 千円 (2016 年度)	349,408 千円 (2022 年度)	350,000 千円 ※当初目標値 330,000 千円 (2028 年度)

[設定理由]

販売とブランド化戦略の構築、果樹生産基盤整備による経営体の強化、付加価値の高い6次産業化商品の開発と首都圏への販売ルートシステムの確立により、果樹販売額の増加につながる。

[目標値変更理由]

当初目標値を達成したことから、目標値を上方修正する。

成果指標(項目)	初期値	現状値	目標値
櫛引地域観光果樹園観光入込客数	18,258 人 (2017 年度)	16,231 人 (2022 年度)	19,000 人 ※当初目標値 24,000 人 (2028 年度)

[設定理由]

果樹産地としての「フルーツの里くしびき」のブランド化の推進や、農業体験型観光の拡大と広域観光圏の形成、宣伝効果のある果樹園の整備などにより、観光果樹園への来場者増につながる。

[変更理由]

(最終)

新型コロナウイルス感染症の影響実績の減少を踏まえ、目標値を下方修正する。

成果指標(項目)	初期値	現状値	目標値
櫛引地域の年間観光入込客数(11施設)	748千人 (2017年度)	652千人 (2022年度)	800千人 ※当初目標値 1,004千人 (2028年度)

[設定理由]

市南部地域(櫛引、朝日、黄金)における広域観光圏の形成を推進するとともに、農業体験型観光の拡大などにより年間観光入込客数の増加につながる。

[目標値変更理由]

新型コロナウイルス感染症の影響実績の減少を踏まえ、目標値を下方修正する。

成果指標(項目)	初期値	現状値	目標値
単位自治組織の地域ビジョン策定数(全21組織・累計)	1組織 (2018年度)	累計1組織 (2022年度)	累計10組織 (2018~2028年度)

[設定理由]

集落支援体制の強化や地域コミュニティ実態調査、ワークショップ開催など住民主体の地域づくりを支援することにより、課題解決に向けた取組が活性化し、地域ビジョンを策定する自治組織の増加につながる。

